



目指せ！ 平成維新

40名（改選前3名）の市議選では全員6名当選、相模原市議選でも4名（1名落選）が当選、しかもトップ当選が何人も出ました。

特に、みんなの党発祥の選挙区、ただ、今回の選挙ほど、やりにくい選挙はなかったです。当初は、とても選挙とい

ればなりません。特に、みんなの党は大きな組織をバックにしているわけでもなく、一人一人の有権者への訴え、その一票一票の積み重ねで当選するしかないんですから。

ただ、公示日以降は、日を追うごとに街宣への反発はなくなり、逆に、日を追うごとに街頭演説で立ち止まってくれる聴衆の数は増えていきました。大震災が起こり、また、菅内閣の危機管理の不手際が明らかに

期待感じたみんなの党躍進

党に、私の地元神奈川県で、選挙の全国延期を訴えたんですが、どこも、わがみんなの党も結党以来初の地方選で大躍進させていただきましたよ。

道府県議選で41名（改選前9名）、政令市議選では14名（1名落選）、川崎

の「NO選挙カー」を掲げ、自転車と公共交通機関の利便で選挙をやりきった候補者も大勢いました。ただ、公示日以降は、日を追うごとに街宣への反発はなくなり、逆に、日を追うごとに街頭演説で立ち止まってくれる聴衆の数は増えていきました。大震災が起こり、また、菅内閣の危機管理の不手際が明らかに

WHO'S WHO

江田憲司（えだ・けんじ）1956年岡山県生まれ。東大法学部卒業。通産省入省。ハーバード大研究員、大臣秘書官等を経て橋本内閣の首相秘書官。中央省庁再編や財政再建、普天間・北方領土返還等に携わる。完全無所属で衆院議員を務め、09年8月にみんなの党を結党。幹事長に就任。現在3期目。

非常時は「覚悟の政治家」必要

選挙の時には、候補者はみんな「良いことづく

め」しか言いません。ただ、こうした非常事態には、給与カットや議員定数削減等の「わが身を切る改革」を断行する「覚悟の政治家」が必要になるんですね。躍進は、それが理解された結果だと思っています。